平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年11月8日

上場会社名　東邦化学工業株式会社　　上場取引所　東
コード番号　4409　URL　http://www.toho-chem.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 中崎　龍雄
問合せ先責任者 (役職名) 取締役経理本部長　(氏名) 井上　豊　TEL 03-5550-3735

四半期報告書提出予定日　平成25年11月13日
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　無
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満切捨て)

1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	18,101	3.2	82	△83.0	331	6.8	177	1.9
25年3月期第2四半期	17,548	△1.5	485	△19.8	310	△21.9	173	△4.7

(注)包括利益　26年3月期第2四半期　751百万円　(379.1%)　25年3月期第2四半期　156百万円　(44.5%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	8.31	―
25年3月期第2四半期	8.15	―

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第2四半期	43,566	9,761	22.2
25年3月期	44,183	9,138	20.5

(参考) 自己資本　26年3月期第2四半期　9,691百万円　25年3月期　9,076百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	―	0.00	―	6.00	6.00
26年3月期	―	0.00			
26年3月期(予想)			―	6.00	6.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	37,500	6.6	500	△59.7	560	△50.3	200	△71.7	9.37

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　有
連結業績予想の修正については、本日(平成25年11月8日)公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 ―社 (社名) 、 除外 ―社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期2Q	21,350,000 株	25年3月期	21,350,000 株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	15,621 株	25年3月期	15,297 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期2Q	21,334,546 株	25年3月期2Q	21,335,053 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表に対するレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 3「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）経営成績に関する説明 …… 2
（２）財政状態に関する説明 …… 3
（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 …… 3
２．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項 …… 9
（継続企業の前提に関する注記） …… 9
（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記） …… 9
（セグメント情報等） …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）経営成績に関する説明

当第２四半期連結累計期間の我が国経済は、個人消費の持ち直しや企業収益の改善に伴う設備投資の増加、並びに復興需要などの公共投資の増加により内需が堅調に推移、外需も、円安の進展で緩やかながら輸出が増加するなど、着実な景気の回復が続いています。しかし、実体経済への波及はまだら模様で、企業業績の回復にもバラツキがみられます。

化学業界においては、石油化学製品の国内需要が低迷、輸出もアジア向けに持ち直しの動きはあるものの、一方で、円安・原油高による輸入原材料の値上がりが企業収益の負担となり、厳しい経営環境が続きました。

このような環境下、当社グループの当第２四半期連結累計期間の売上高は、第１四半期は製品需要が総じて低調で苦戦いたしましたが、第２四半期は界面活性剤セグメントや化成品セグメントを中心に回復に転じ、増収を確保しました。

その結果、売上高は、前年同期比５億52百万円、3.2％増収の181億１百万円となりました。

しかし、利益面については、期初から続く原材料価格上昇に対する価格是正の対応の遅れや、中国事業関連の固定費負担などの影響から、第２四半期に入っても収益回復の動きが鈍く、苦戦を余儀なくされました。

その結果、利益面では、営業利益は前年同期比４億３百万円減益の82百万円となりました。一方、経常利益は、円安による為替差益の寄与により前年同期比21百万円増益の３億31百万円、四半期純利益は、前年同期比３百万円増益の１億77百万円となりました。

セグメント別の状況は次のとおりです。

（界面活性剤）

トイレタリー用界面活性剤は、ヘアケア用基剤は販売減となったものの、一般洗浄剤が第２四半期に入り大幅に回復し増収となりました。プラスチック用界面活性剤は、主力の帯電防止剤の落ち込みを主因に減収となりました。土木建築用薬剤はコンクリート用関連薬剤等が引き続き堅調に推移し増収となりました。紙パルプ用界面活性剤は消泡剤や脱墨剤の落ち込みを主因に減収となりました。農薬助剤は、乳剤用などの海外需要向けが振るわず減収となりました。繊維助剤は、染色助剤などが伸長し増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比２億15百万円、2.2％増収の99億14百万円となり、セグメント利益は、前年同期比２億66百万円減益の２億58百万円となりました。

（樹脂）

石油樹脂は、第２四半期以降販売が回復したものの前半の落ち込みが響き、減収となりました。合成樹脂は、断熱フォーム用ウレタン樹脂や接着剤用向けなどが振るわず減収となりました。樹脂エマルションは、金属表面処理剤などが低調に推移し、減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比72百万円、4.0％減収の17億32百万円となり、セグメント損失は、61百万円（前年同期はセグメント損失１百万円）となりました。

（化成品）

合成ゴム・ＡＢＳ樹脂用ロジン系乳化重合剤は、第２四半期に入り海外販売向けが回復し大幅な増収となりましたが、ロジン原料価格の急騰で採算面は苦戦いたしました。石油添加剤は、脱ロウ助剤や油性分散剤が伸長し、増収となりました。金属加工油剤は、主力の水溶性切削油剤が低調だったものの、全体では若干の増収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比３億93百万円、19.5％増収の24億11百万円となり、セグメント損失は、23百万円（前年同期はセグメント利益17百万円）となりました。

（スペシャリティーケミカル）

溶剤は、電子材料用や医薬品製造用が低調でしたが、ブレーキ液用などの一般溶剤が伸長し、増収となりました。電子・情報産業用の微細加工用樹脂は、開発品は堅調に推移しましたが、既存製品の第１四半期の出遅れが響き、若干の減収となりました。アクリレートは、海外販売向けが低調に推移し減収となりました。

その結果、当セグメント全体の売上高は、前年同期比８百万円、0.2％増収の39億96百万円となり、セグメント損失は、１億５百万円（前年同期はセグメント損失58百万円）となりました。

（２）財政状態に関する説明

当第２四半期連結会計期間末の総資産は435億66百万円と前期末比６億17百万円の減少となりました。その内訳は、流動資産が13億24百万円減少の212億59百万円、固定資産が７億６百万円増加の223億６百万円です。

流動資産の主な増減要因は、現金及び預金が11億69百万円の減少、たな卸資産が１億46百万円の減少です。

固定資産の主な増減要因は、有形固定資産が３億88百万円の増加、無形固定資産が１億24百万円の増加、投資その他の資産が１億93百万円の増加です。

一方、負債合計は、338億４百万円と12億41百万円の減少となりました。主な増減要因は、流動負債で支払手形及び買掛金が６億37百万円の減少、短期借入金が１億22百万円の減少、未払法人税等が１億87百万円の減少、固定負債で長期借入金が１億88百万円の減少です。

純資産は、97億61百万円と６億23百万円の増加となりました。主な増減要因は、利益剰余金が配当金の支払と四半期純利益との差額の49百万円の増加、その他の包括利益累計額が為替換算調整勘定を主因に５億65百万円の増加です。

その結果、自己資本比率は22.2％となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

当第２四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は35億４百万円となり、前連結会計年度末と比較して11億45百万円の減少となりました。

当第２四半期連結累計期間における「営業活動によるキャッシュ・フロー」は27百万円の支出（前年同期は18億12百万円の収入）となりました。主なプラス要因は、税金等調整前四半期純利益３億４百万円、減価償却費８億75百万円、たな卸資産の減少額２億５百万円等であり、主なマイナス要因は、仕入債務の減少額６億44百万円、為替差益４億30百万円、利息の支払額１億63百万円、法人税等の支払額２億41百万円等であります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は５億99百万円の支出（前年同期比16億10百万円の支出減）となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出５億80百万円等によるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は６億10百万円の支出（前年同期比３億68百万円の支出増）となりました。主な要因は、短期借入金の純減額２億７百万円、長期借入金の純減額１億53百万円、配当金の支払額１億28百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期業績予想につきましては、売上は回復してきたものの、第３四半期以降も原材料価格の上昇が続く見通しであり、引き続き厳しい収益環境が予想されます。

これに対し、価格是正への粘り強い取り組みや、一段のコスト削減に取り組んでまいる方針ですが、第２四半期迄の大幅な業績の下振れの影響や、更に中国（上海）工場の本格的な商業生産開始時期の遅れによる影響もあり、通期業績予想は、平成25年８月９日に公表しました連結・個別の業績予想を下回る見通しです。

なお、本連結業績予想の修正に関しましては、個別業績予想の修正も含め、別途、本日（平成25年11月８日）付「業績予想の修正に関するお知らせ」において公表しておりますのでご参照ください。

２．四半期連結財務諸表
（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,339	4,170
受取手形及び売掛金	9,214	9,160
たな卸資産	7,303	7,156
その他	726	771
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	22,583	21,259
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	6,963	8,890
機械装置及び運搬具（純額）	2,764	2,594
土地	3,281	3,281
建設仮勘定	3,619	2,335
その他（純額）	1,461	1,377
有形固定資産合計	18,091	18,479
無形固定資産	737	862
投資その他の資産	2,771	2,964
固定資産合計	21,600	22,306
資産合計	44,183	43,566

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成25年３月31日）	当第２四半期連結会計期間 （平成25年９月30日）
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	7,394	6,756
1年内償還予定の社債	1,200	1,400
短期借入金	5,301	5,179
未払法人税等	226	39
賞与引当金	332	339
その他	2,244	2,095
流動負債合計	16,698	15,809
固定負債		
社債	4,720	4,520
長期借入金	9,117	8,928
退職給付引当金	2,929	3,009
役員退職慰労引当金	134	113
資産除去債務	55	56
その他	1,389	1,366
固定負債合計	18,346	17,994
負債合計	35,045	33,804
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,755	1,755
資本剰余金	896	896
利益剰余金	5,974	6,023
自己株式	△3	△3
株主資本合計	8,621	8,670
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	303	446
為替換算調整勘定	151	574
その他の包括利益累計額合計	454	1,020
少数株主持分	61	70
純資産合計	9,138	9,761
負債純資産合計	44,183	43,566

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
売上高	17,548	18,101
売上原価	14,999	15,756
売上総利益	2,549	2,345
販売費及び一般管理費	2,063	2,262
営業利益	485	82
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	20	20
為替差益	－	396
その他	37	41
営業外収益合計	59	459
営業外費用		
支払利息	177	159
その他	57	51
営業外費用合計	235	211
経常利益	310	331
特別損失		
固定資産廃棄損	4	26
投資有価証券評価損	11	－
固定資産売却損	1	－
特別損失合計	16	26
税金等調整前四半期純利益	293	304
法人税等	119	128
少数株主損益調整前四半期純利益	174	176
少数株主利益又は少数株主損失（△）	0	△0
四半期純利益	173	177

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
少数株主損益調整前四半期純利益	174	176
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△91	143
為替換算調整勘定	73	431
その他の包括利益合計	△17	574
四半期包括利益	156	751
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	154	742
少数株主に係る四半期包括利益	2	8

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 （自　平成24年４月１日 至　平成24年９月30日）	当第２四半期連結累計期間 （自　平成25年４月１日 至　平成25年９月30日）
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	293	304
減価償却費	880	875
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△19	△0
賞与引当金の増減額（△は減少）	16	7
退職給付引当金の増減額（△は減少）	46	77
役員退職慰労引当金の増減額（△は減少）	△20	△21
受取利息及び受取配当金	△22	△21
支払利息	177	159
為替差損益（△は益）	△20	△430
投資有価証券評価損益（△は益）	11	－
固定資産廃棄損	4	26
有形固定資産売却損益（△は益）	1	－
売上債権の増減額（△は増加）	85	110
たな卸資産の増減額（△は増加）	424	205
仕入債務の増減額（△は減少）	110	△644
その他	163	△291
小計	2,130	355
利息及び配当金の受取額	22	21
利息の支払額	△179	△163
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△161	△241
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,812	△27
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△16	－
定期預金の払戻による収入	26	28
有形固定資産の取得による支出	△2,290	△580
有形固定資産の売却による収入	58	－
無形固定資産の取得による支出	△11	△27
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
その他	28	△14
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,210	△599
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額（△は減少）	△419	△207
長期借入れによる収入	1,750	1,550
長期借入金の返済による支出	△1,328	△1,703
社債の発行による収入	588	688
社債の償還による支出	△600	△700
リース債務の返済による支出	△104	△109
配当金の支払額	△128	△128
少数株主への配当金の支払額	－	△1
その他	－	△0
財務活動によるキャッシュ・フロー	△242	△610
現金及び現金同等物に係る換算差額	29	92
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	△611	△1,145
現金及び現金同等物の期首残高	5,156	4,649
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,544	3,504

（４）四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自　平成24年４月１日　至　平成24年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,699	1,805	2,017	3,988	17,509	39	17,548	－	17,548
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	122	122	△122	－
計	9,699	1,805	2,017	3,988	17,509	161	17,671	△122	17,548
セグメント利益又は損失（△）	524	△1	17	△58	482	33	515	△30	485

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額 △30百万円には、棚卸資産の調整額 △10百万円等が含まれております。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自　平成25年４月１日　至　平成25年９月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント					その他（注）１	合計	調整額（注）２	四半期連結損益計算書計上額（注）３
	界面活性剤	樹脂	化成品	スペシャリティーケミカル	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,914	1,732	2,411	3,996	18,054	47	18,101	－	18,101
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－	109	109	△109	－
計	9,914	1,732	2,411	3,996	18,054	156	18,210	△109	18,101
セグメント利益又は損失（△）	258	△61	△23	△105	67	32	99	△16	82

（注）１．「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、環境調査測定・分析及び物流倉庫業務等を含んでおります。

２．セグメント利益又は損失（△）の調整額 △16百万円には、各報告セグメントに配分していない全社費用△122百万円及び棚卸資産の調整額 102百万円等が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

３．セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書計上額の営業利益と調整を行っております。